

# 紫式部と王朝の歌人たち

●講師：京都産業大学教授 小林一彦

『源氏物語』の作者、紫式部。道長の愛人だったという説もありますが、最高権力者の有能な秘書であったことは疑いないようです。そして清少納言との関係は？ 冷泉家時雨亭文庫の機関誌「しぐれてい」に36回にわたり連載された「王朝の女流歌人たち」。講座では、その中から選りすぐりの話題を取り上げ、新しい紫式部の姿を浮かび上がらせます。

第1回 紫式部と道長・伊勢大輔 第2回 紫式部と清少納言



## 講師プロフィール

和歌文学会常任委員、全国大学国語国文学会代表委員、文学風土学会常任理事などを歴任。100分de名著ブックス『鴨長明 方丈記』（NHK出版）、日本歌人選『鴨長明と寂蓮』（笠間書院）など編著書、論文多数。研究活動のほか、テレビ・ラジオ出演多数、新聞や雑誌の連載、コラムなどでわかりやすく古典の魅力を説く活動にも力を入れています。

## この講座の収益金の一部を、冷泉家・北の大蔵新築工事費用に寄付します。

京都御所の北、今出川通に南面した冷泉家住宅は完全な形で現存する唯一の近世公家屋敷です。同家伝来の典籍・古文書類は国宝の藤原定家筆『古今和歌集』、『明月記』をはじめ、和歌に関するものを中心に数万点にのぼり、日本文学、文化史上に重要な役割をはたしてきました。

冷泉家には、これらの貴重な文化遺産をおさめている土蔵が8棟ありましたが、そのうち3棟は朽ちてしまったので収蔵品はプレハブに仮置きされていました。ところが平成30年の台風によりその屋根が破損してしまい、元のように蔵を新築し、周辺の整備をすることが緊急課題となっています。しかしそれにはおよそ2億円の工事費用が必要です。

冷泉家の祖、藤原定家が残した写本によって、現代の私たちも平安王朝の優れた文学作品に触れ、読み味わうことができます。創企舎ソフィでは、当講座を企画するにあたり定家卿へ感謝と尊敬の思いをこめて皆様から頂く受講料の一部を冷泉家・北の大蔵新築工事費用寄付金として「公益財団法人 冷泉家時雨亭文庫」へお送りします。どうぞご受講とともに貴重な文化財保護継承にご協力ください。

●日 時： 2024年2月28日、3月6日

水曜日 14:00 ~ 15:30

●受講料：2回 7,000円

お申し込み方法 052-684-5894 (tel, fax)

ご予約のうえ、下記口座にお振込み下さい。

三菱UFJ銀行 栄町支店 普通預金口座

0160603 名義：ソフィソフイ

または当日ご持参ください。

お申し込み・お問い合わせは



## 創企舎 ソフィ

460-0007 名古屋市中区新栄2-6-13

Tel/Fax 052-684-5894 (直通090-8474-6363)

Email: soukisha-sophy@gd5.so-net.ne.jp

URL: <http://s-sophy.com>

創企舎ソフィ

検索

## 会場案内図

### IMY (アイエムワイ) ビル会議室

〒461-0004 名古屋市東区葵3-7-14

地下鉄東山線「千種」駅①番出口徒歩2分

地下鉄桜通線「車道」駅③番出口徒歩1分

JR「千種」駅徒歩5分（メルパルク北隣）

